

『生活を共にするのが家族』

(50歳代 女性)

2年前に里親登録し、秋に小学校低学年と幼稚園児の姉弟を預かり、今年の夏には小学校高学年の女の子を新しく迎えました。今では実子とともに、毎日だんごになって遊んでいます。

私は里子を迎えるたびに、本人を連れて自治会などに挨拶に行くのですが、地域の方もよく理解してくれていて、子ども達にも気軽に声をかけてくれます。

虐待が繰り返されるのと同じで、家庭の温かさを知らずに育った子どもは、普通の家庭を築くことが難しいと聞きました。だから、この家で普通の生活をさせてあげて、ごく当たり前の暮らしができる大人に成長させることが私の目標です。

日本人は血縁を重んじます。が、里親をしていると、血のつながりよりも一緒に生活するのが家族だと感じます。里親だからといって気負いせずに、温かい気持ちで子ども達を迎えてあげてください。

